

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第9回

1. 実施日

令和4年9月17日（土）1、2限

2. 場所

多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 中村啓介 三嶋千代子 山中脩平 藤原久美子

5. 内容

前回に大阪大学で「アカデミック・ライティング講座」を受けた。その時に、大学の先生方や大学院生の方から励ましの言葉を書いた色紙をいただいたので、それを紹介した。また、当日各自が書いた論文の冒頭部分を添削してくださったので、生徒に返却した。大変丁寧かつ書けている部分をほめるコメントが多く、生徒たちはやる気が出たようだ。

1限目は、11月5日実施のポスター発表までのスケジュールを全体で確認した。今回は研究報告書Ver.2の「0. 研究テーマ」、「1. 研究の動機・問題の背景」、「2. 具体化されたリサーチクエスション（RQ）」までを完成させることが目標であった。また、1を書くにあたり、1学期に学んだ京都橘大学乾先生の資料を映し、書き方のポイントを確認した。「ツッコミシート」も再度提示し、RQを深めていく資料とした。

2限目はチーム毎に研究報告書を進め、本時の成果をロイロノートに提出した。

6. 学び

「1. 研究の動機・問題の背景」を詳しく説明することは、「2. 具体化されたRQ」や「3. 具体化されたRQを明らかにするための調査」に繋がることが分かった。自分たちの研究テーマについて改めて深く考え、どのような調査が必要なのか見えてきた。

7. 次回への課題

研究報告書 Ver. 2の完成のため、返却されたフィードバックをもとに準備を進める。

8. 本時の振り返り

進度やレベルに差はあるが、発表に向けて研究が進んでいる。ポスター発表まで授業はあと2回なので、スケジュールを考えながら研究を進めていく必要がある。生徒の研究報告書から良い例を授業で共有し、見本としながら全体のレベルアップを図った。